

2012年9月16日（日）13:30～16:30 キャンパスプラザ京都4階第4講座室にて

《シンポジウム》『骨格提言』から1年 権利守れる障害者法を！

京都市内や京都府下からだけでなく兵庫、奈良、大阪などからも140名近い参加者で大盛況でしたよ！

会場からツイッターやFBで速報したものですシンポジウム概要版です後日報告集が発行される予定ですのでご参考までに

＜京都シンポ01＞《シンポジウム》『骨格提言』から1年
権利守れる障害者法を！

<http://www.fukushi-hiroba.com/human/data/120916sympo.doc>

…がスタート。会場は90名を越える人たちで熱気です。まず佐藤先生から骨格提言の意義、総合福祉法、骨格提言との違いなど



＜京都シンポ02＞シンポジスト発言、まず佐藤先生から…（画面左からコーディネーター池添さん、シンポジストの佐藤先生、藤原先生、峰島先生の順です）骨格提言のめざすもの、提言の意義、2012年6月に成立した障害者総合支援法の内容、骨格提言との違いを解説中

＜京都シンポ03＞シンポジウム、最新の情勢や動向を学ぼうと京都府下だけでなく近畿各地からも続々と参加者が増えてます、用意した130部の資料もなくなってしまい事務局が今コピーに走っています。嬉しい悲鳴と熱い熱気の会場です。



＜京都シンポ04＞②シンポジウムトの藤原先生から障害者の人権保障の歩みの中で障害者自立支援法の闘いをとらえると題してお話。1）障害者が権利を求めて立ち上がった「堀木訴訟」とは…続く

＜京都シンポ05＞続き、2）主権者になっていく障害者の声を聞け！朝日訴訟、全障研創立、障全協創立などの歴史から、骨格提言がめざすポイント、なんで基本合意が守られないのか、社会保障はなぜあるのか、権利条約を批准させることの意義などをお話し。

＜京都シンポ06＞③シンポジウムトの峰島先生から、骨格提言を実現することの意義—この間の情勢から—、大きな情勢から障害者運動の到達点と骨格提言実現の意義を、残されている課題などのお話。貧困と格差の拡大施策「社会保障と税の一体改革」…続く

＜京都シンポ07＞続き…貧困と格差拡大政策を根本から変える国民生活を守る—運動の新たな提起—その重要な担い手・障害者運動、骨格提言実現の意義など…休憩に、後半はフロアーからの発言です。

＜京都シンポ08＞再開。フロアーから実情・実態や願い・想いなどそれぞれの立場から発言、①難病関係のNさん、②きょうされん職員Mさん、③JCALのYさん、④子供たちの保育療育をよくする会から、参加者兵庫、奈良、大阪などからも140名近くに！



<京都シンポ09>フロアーから実情・実態や願い・想いなどそれぞれの立場から発言パートⅡ、兵庫の視覚障害当事者自立支援法元原告Yさんから、大阪の肢体障害当事者自立支援法元原告Kさんから…障害に対する認識の無さ、介護保険法や難病、高齢化など

<京都シンポ10>フロアー発言続きます、京都の聴覚障害当事者のKさんから手話通訳派遣無料化、コミュニケーション保障など実現して欲しい、京都の肢体障害当事者Yさんから障害種別の運動から横断的立場を超えた運動になってきている。

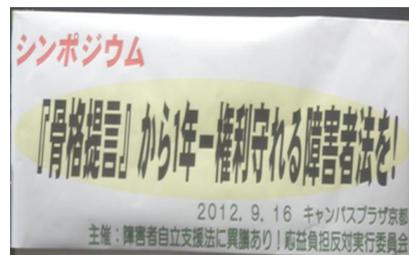


<京都シンポ11>フロアー発言続く！、京都のKさんから平等について、視覚障害当事者Tさん差別禁止条例京都府検討委員している、聴覚障害当事者のMさんから総合支援法になれば災害対策についてどうなっているのか？…などフロアーから意見や質問などがいっぱい発言ができました。

<京都シンポ12>フロアー発言を受けてシンポジストから佐藤先生から難病対策についての動き、障害種別の枠を超えた運動の大切さなど。藤原先生から権利擁護、政策委員会の役割、権利条約批准の意味、差別禁止法の動きなど。



<京都シンポ13>フロアー発言を受けてシンポジストから峰島先生から、障害についての克服、我慢などの言葉や視点がでてくるのではないかと危惧心配、介護保険利用する障害者の実態改善、骨格提言を生かしていく運動が大切、社会保障の大きな支えに！



「骨格提言は歴史の流れ」に確信を持ち、

「京都からの発信をさらに強く」との思いを新たにしたいシンポジウムでしたよ！